

○第211回 遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：令和3年5月26日（水） 14：00～16：05

議事概要：

（1）JPAN009 株を利用して生産されたグルコアミラーゼ

・審議の結果、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会へ報告することとなった。

* アミロース、アミロペクチン等の多糖類の α -1,4-D-グルコシド結合を非還元末端から加水分解する酵素です。

（2）*Bacillus subtilis* NT104（pHYT2TD）株を利用して生産された α -グルコシルトランスフェラーゼ

・継続審議となった。

* デンプン加水分解物に作用し、 α -1,6-グルコシル転移反応を触媒する酵素です。